

Windmolen



ロッテルダム日本人学校 谷崎 城

リウマチセンター訪問

リウマチセンターという所に行き、お年寄りの方々と交流をしてきました。まず、全員による『ふじさん』の合唱の後、1・2年生による『キッズソーラン』。そして、グループごとに分かれて、『福笑い』『トントン相撲』『神経衰弱』の3つの遊びをしながら、交流を深めました。最後には、『ドレミの歌』をオランダ語をまじえて歌い、お年寄りの方々もとても喜んでいました。

「“表情” “言葉” “ジェスチャー” をつかって、自分の気持ちを伝えよう!」というねらいのもと、児童生徒はそれを意識してお年寄りの方々と接することができたと思います。言葉が通じなくても、交流することができるということを実感できたのではないのでしょうか。



南ホラント街歩き (つづき)



ライデン (Leiden)

画家レンブラントの出身地であるライデンには、オランダ最古の大学であるライデン大学があります。この大学に世界で最初に日本学科が設置されたそうです。現在も多くの学生が日本語や日本の文化を学んでいます。また、この街はシーボルトが日本から帰国した後に住んでいた街でもあります。彼が住んでいた家が今、シーボルトハウスという博物館になっていて、日本から持ち帰った収集品が展示されています。毎年5月にジャパンマルクトというフェスティバルが開催され、シーボルトハウスの前の通りに屋台がズラリと並び、日本の物がたくさん売られています。浴衣やコスプレ衣装を身にまとったオランダ人がたくさんいて不思議な感じがしました。将棋コーナーで対戦をしたのですが、甘く見すぎてやられました。

